

実践事例

授業づくりの工程

前題材までに到達している実態を把握

子どもに望む姿を想定

指導内容の決定
(研究生産物を基に)

学習指導要領の指導
内容から段階を決定

題材目標の決定

教材の設定

題材設定の立場記述

題材計画構想

授業構想シートを活用

本時案作成

題材開始

R研で毎時間の
授業の評価・改善

題材終了

観点別評価の実施

指導内容	中学部1段階 聞くこと・話すこと 知・技:ア(ア) 思・判・表:ア 学び:ウ
教材と 仕組み	「ポプラデリバリー」でお客さんに荷物を届けるために、ものや位置の違いを説明することばを含む指示を聞いたり話したりする指示を聞き取って、ものや位置をメモシートに記録し、ものカードや位置を選んで行動したり、正しく指示を伝えたりしてポイントを獲得する仕組みで行った
題材目標	知・技 ものや位置の違いを説明することばの指示を聞いたり、話したりするとき、ものや位置を説明することばがわかり、ものや位置を聞き取ったり、説明することばで伝えたりすることができる
	思・判・表 ものや位置の違いを説明することばの指示を聞き取ったり、説明したりするときその場面に適した内容のことばを選び、指示通りに行動し、相手に伝わるように説明することばを入れて話す
	学び ことばがもつよさに気づくとともに、考えたり、伝え合ったりしようとする
評価規準	知・技 ものや位置の違いを説明することばの指示を聞いて指示に合う位置やカードを選んだり、指示を伝えるときにものや位置の違いを説明することばを入れて話したりする
	思・判・表 ものや位置の違いを説明することばの指示を聞いて指示に合う位置・ものカードを選んで行動し、指示を伝えるとき、ものや位置の違いが相手に伝わるように話す
	学び 相手に指示が伝わらなかったとき、どのように話すかよいかを振り返る

三観点	評価
知識及び 技能	ものや位置の違いを説明することばを含む指示を聞き取り、聞き取った内容から正しい位置やものを選んで持って行ったり、持って来たりすることができた。指示を伝えるときは、ものや位置の違いを説明することばを使って話すことができた。
思考力・ 判断力・ 表現力等	ものや位置の違いを説明することばの指示を聞いて、指示に合う位置・ものカードを選び、持って行ったり、持って来たりできた。指示を伝えるときは、ものや位置の違いを説明することばを入れて、相手に伝わるように「幅が狭いスクイージーを、入り口に入って駐車場側の奥の部屋に持って行ってください」のように話すことができた。
主体的に学 習に取り組む 態度	相手が聞き取ることができなかったとき、どこを聞き取るとよいかわかり、その部分を聞くことよいことを相手に伝えて、もう一度指示を伝える姿が見られた。



どの部分を見れば「違い」がわかるのかな？

望む姿	意図と働きかけ	結果	改善内容とその結果
「長い」「短い」「幅が広い」「幅が狭い」などのものを説明することばを聞くと、どの部分を見ればよいかわかる。	ものの違いを説明することばが、もののどの部分を示すかわかるように、早見表を使って説明している部分を示した。また、教師が写真カードに色を付けてその部分を示した。 〈左:幅が狭いはけ〉 〈右:幅が広いはけ〉	違いを説明することばがどの部分かを教師が尋ねると、人さし指と親指を使ってその範囲を示す姿が見られた。	友だちが写真カードを選び間違えたときに、カードのどの部分を見ると違いがわかるかを指さして、友だち同士で伝え合うようにすると、違いを説明することばに合う写真カードを選ぶことができた。また、話すときにどの部分が違うか考えて適切なことばを選んで話すことができるようになった。



「聞く」に集中するために

【R研】 国語・算数の 授業実施日に行う、授業の 評価や改善 について 話し合う場	望む姿	意図と働きかけ	結果	改善内容とその結果
	聞き取った内容をメモシートに記録する。	聞き取ることに集中できるように、ものカードと同じイラストや違いを説明することば、位置などに○をつけて記録できるメモシートを使うようにした。	指示のことばを聞いて、メモシートの「もの」を選ぶときに、イラストを探すことに時間がかかり、全体の指示を聞き取れていない姿が見られた。	イラストだけでは、もの名前がわかりにくいものがあつたため、イラストと文字の表記にした。すると、聞き取った指示を素早く探すことができるようになり、指示の全体を聞き取り、メモシートに記録できるようになった。

次題材に向けて

- ・「～に、持って行く」「～から、持ってくる」の区別がついていない生徒がいた。教師が動作で示しても、十分に理解できていない姿が見られた。
→ものや位置の違いを説明することばを聞き取ったり、話したりする学習であったが、「持って行く」「持ってくる」を間違えることによって、ものや位置の違いを説明することばを聞き取れていても正答できない姿が見られたため、動詞やその仕方について扱う時間も設定するとよかった。
- ・「～側」の意味が理解できず、「体育館側」と聞いて体育館に荷物を持って行くなど間違える姿が見られた。
→「肢体訓練室の体育館側」のように、指定の建物や部屋の中の位置であることを理解できるように、「矢印シート」を使って示すようにした。〈右図〉「矢印シート」を使うと正しく理解できたので、今後は答え合わせで使うようにする。
- ・答え合わせのとき、選んだカードのみを友だちに見せていたため、もの違いを説明することばに合うものを選ぶことができたか判断に悩む姿が見られた。
→「大きい」と「小さい」、「長い」と「短い」などが比較できるように、選んだカードの対になるカードを並べて示した。
今後は、対になるカードのどの部分を見るとよいか、生徒が色を付けるなどして示すようにしたい。

